



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 東和薬品株式会社

コード番号 4553 URL <http://www.towavakuhin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉田逸郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長

(氏名) 西川義明

TEL 06-6900-9101

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	53,055	17.3	8,612	34.8	12,506	64.6	8,905	73.3
26年3月期第3四半期	45,225	8.4	6,387	△5.4	7,597	1.0	5,139	2.8

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 8,970百万円 (73.9%) 26年3月期第3四半期 5,157百万円 (1.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	524.01	—
26年3月期第3四半期	302.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	115,524	67,843	58.7
26年3月期	103,318	60,147	58.2

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 67,843百万円 26年3月期 60,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	37.50	—	37.50	75.00
27年3月期	—	37.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	57.50	95.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,000	17.4	10,000	29.8	11,000	24.5	8,060	34.5	474.25

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	17,172,000 株	26年3月期	17,172,000 株
27年3月期3Q	176,842 株	26年3月期	176,760 株
27年3月期3Q	16,995,225 株	26年3月期3Q	16,995,294 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成26年4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動からの回復に遅れが見られるものの、雇用・所得環境は改善傾向が続いており、原油価格下落の影響や各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されま
す。また、個人消費の回復に弱さが見られるものの、底堅さは維持しており、緩やかに上向いて
いく見通しです。

医療用医薬品業界では、平成26年4月の薬価制度改革により、既収載の後発医薬品の薬価を3
価格帯に集約する新たな仕組みが導入されるとともに、新規収載後発医薬品の薬価についても先
発医薬品の0.6掛け(一部0.5掛け)に引き下げられました。一方、平成26年4月の診療報酬改定に
おいて、保険薬局の調剤基本料における後発医薬品調剤体制加算が見直されたこと、およびDPC病
院の機能評価係数Ⅱに後発医薬品指数が新設されたことなど、後発医薬品の使用促進の施策も併
せて実施されました。

このような業界環境の下、これまで適正価格販売で比較的高い薬価を維持してきた当社製品の
薬価が大幅に下落したため、販売価格の見直しをせざるを得ませんでした。当社の特徴である
直販体制や付加価値製剤などの価格以外の強みを活かし、取引先数と販売数量を伸ばしました。
また、前述の使用促進策により、DPC病院における当社製品の採用が増加し、門前の保険薬局と併
せて売上が増加しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、
53,055百万円(前年同期比17.3%増)となりました。

コスト面では、工場稼働率の向上や山形工場の減価償却費の減少の一方で、大幅な薬価引き下
げによる影響が見られるものの、当社主力製品の売上数量の増加などにより、原価率は48.6%と、
前年同期と比較してわずかに低下しました。販売費及び一般管理費に関しては、付加価値製剤な
どを含む開発品目の増加に伴う研究開発費の増加などにより、2,137百万円増加しましたが、売上
高の増加と比較して低い伸びにとどまり、営業利益は8,612百万円(同34.8%増)となりました。
また、急速に進んだ円安の影響により、デリバティブ評価益2,958百万円が発生したため、経常利
益は12,506百万円(同64.6%増)、四半期純利益は8,905百万円(同73.3%増)と大幅な増益にな
りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、115,524百万円となり、前連結会計年度末比
12,206百万円の増加となりました。その主な要因は、建設仮勘定の増加3,071百万円、棚卸資産の
増加3,917百万円などです。

負債につきましては、47,681百万円となり、前連結会計年度末比4,510百万円の増加となりまし
た。その主な要因は、長期借入金の増加2,693百万円などです。

純資産につきましては、67,843百万円となり、前連結会計年度末比7,695百万円の増加となりま
した。その主な要因は、利益剰余金の増加7,631百万円などです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成26年5月14日に公表した平成27年3月期の連
結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成27年2月9日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」
をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の連結貸借対照表及び連結損益計算書に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,038	5,704
受取手形及び売掛金	19,505	23,007
有価証券	4,637	2,000
商品及び製品	12,412	14,520
仕掛品	3,554	3,493
原材料及び貯蔵品	6,707	8,577
その他	4,091	6,679
貸倒引当金	△152	△34
流動資産合計	56,794	63,947
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,663	21,123
機械装置及び運搬具(純額)	9,019	9,246
土地	7,249	9,114
建設仮勘定	3,470	6,541
その他(純額)	1,185	1,184
有形固定資産合計	42,587	47,211
無形固定資産	906	885
投資その他の資産		
投資有価証券	1,937	2,367
退職給付に係る資産	182	47
その他	917	1,071
貸倒引当金	△6	△5
投資その他の資産合計	3,029	3,480
固定資産合計	46,523	51,576
資産合計	103,318	115,524

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,775	11,356
短期借入金	1,400	1,550
1年内返済予定の長期借入金	2,925	2,755
未払法人税等	1,915	2,086
引当金	106	79
その他	8,634	8,699
流動負債合計	24,757	26,528
固定負債		
長期借入金	16,620	19,314
引当金	147	163
退職給付に係る負債	13	—
その他	1,631	1,674
固定負債合計	18,413	21,152
負債合計	43,170	47,681
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,717	4,717
資本剰余金	7,870	7,870
利益剰余金	48,049	55,680
自己株式	△639	△639
株主資本合計	59,998	67,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131	209
退職給付に係る調整累計額	17	4
その他の包括利益累計額合計	149	213
純資産合計	60,147	67,843
負債純資産合計	103,318	115,524

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	45,225	53,055
売上原価	22,306	25,773
売上総利益	22,919	27,281
販売費及び一般管理費	16,532	18,669
営業利益	6,387	8,612
営業外収益		
受取利息	22	60
受取配当金	3	4
技術指導料	45	45
為替差益	134	186
有価証券評価益	197	340
デリバティブ評価益	615	2,958
貸倒引当金戻入額	87	110
その他	231	301
営業外収益合計	1,338	4,008
営業外費用		
支払利息	84	101
その他	42	12
営業外費用合計	127	113
経常利益	7,597	12,506
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産処分損	48	29
工場用地移転損失	68	—
特別損失合計	116	29
税金等調整前四半期純利益	7,481	12,477
法人税等	2,341	3,571
少数株主損益調整前四半期純利益	5,139	8,905
四半期純利益	5,139	8,905

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,139	8,905
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	77
退職給付に係る調整額	—	△12
その他の包括利益合計	17	64
四半期包括利益	5,157	8,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,157	8,970
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループ(当社及び連結子会社)は、医薬品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。